

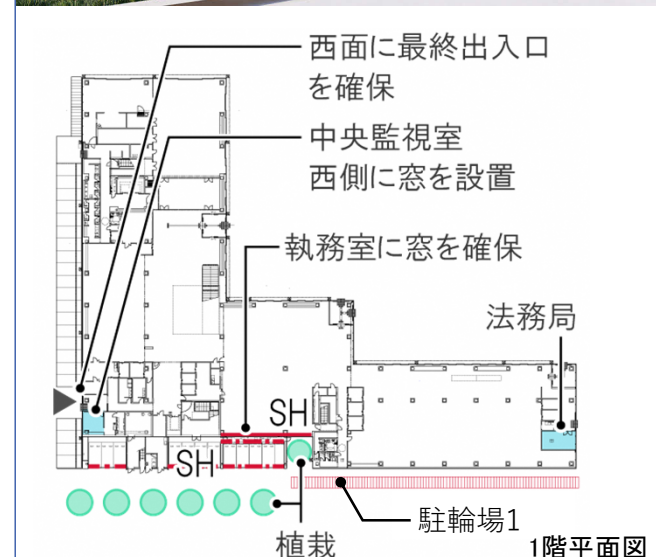
市民・市関係者の想いをつなぎ、永く親しまれる環境配慮型庁舎『守の舎』を実現します



働きやすい庁舎

+ 車庫棟1と庁舎棟の一体化

- ・ 南側外観: 庁舎棟と車庫棟1を一体化することで外壁率や開口率を低減



誰もが利用しやすい庁舎

+ 柱のとりやめによる見やすく歩きやすい安全で快適な中央待合空間



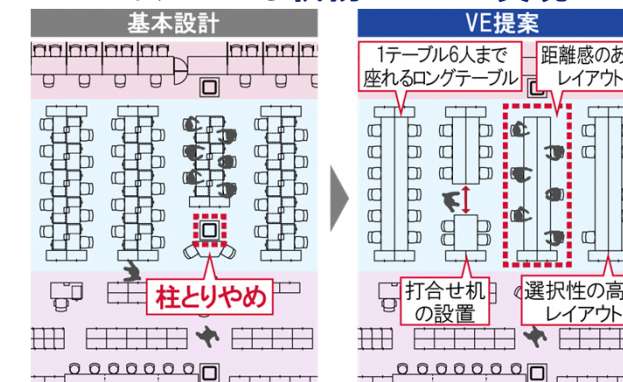
柱のない中央待合空間

+ 3か所の多機能インフォメーションウォールによるワンストップでわかりやすい情報発信



外からもわかりやすい多機能インフォメーションウォール

+ 1階税部門の柱取りやめによるフレキシブルな執務ゾーンの実現



柱の削減によるフレキシビリティの高い執務空間

+ 待ち時間の低減と安全安心を確保する高機能カメラの設置



高機能カメラ

+ 皆が安心できる感染症対策としてエレベーターのボタンを非接触化

災害に強く、市民の安全安心を支える庁舎

+ 業務継続性を更に向上する設備計画

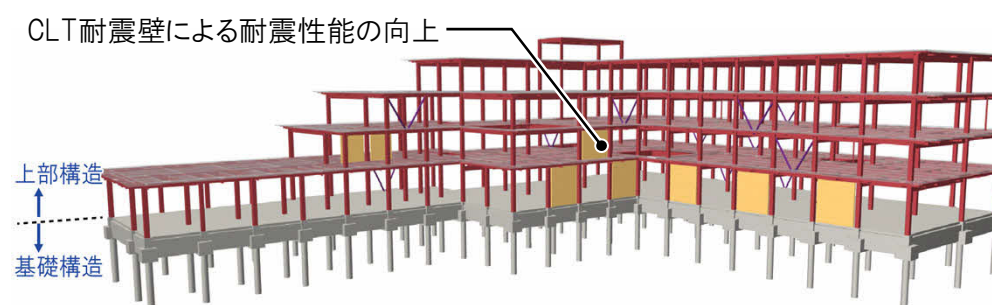
- ・ 4日分の受水槽・雑用水槽
- ・ 72時間分の非常用発電機燃料を備蓄

+ 要求水準を更に15%上回る耐震性能を有するCLT+Sハイブリッド構造※

- ・ 鉄筋コンクリート耐震壁に匹敵する強度を発現
- ・ 木を構造に取り入れ安全・意匠・環境が融合した庁舎を実現する構造システム
- ・ 構造体の表面が仕上げとなり、内観外観共に木の表情を活かした建築を実現
- ・ 建築プランに合わせた配置計画が可能



CLT耐震壁



※CLT:木の直交集成板 S:鉄骨造

地域経済への貢献

+ 市内建設関連企業への発注等、地域経済貢献

- 市で実績のある協力会社を採用し労働力を確保と育成
- 竣工後の維持、メンテナンスを踏まえた協力会社の選定

市内建設関連企業への発注予定額
計 6.15 億円

+ 作業所運営に関わる物品・サービス等も市内企業を積極活用

- 作業所備品、福利厚生サービスは周辺企業へ100%発注
- 当社従業員、作業員の飲食関連は周辺施設を利用
- 作業所内イベント時の記念品は地元事業者や地域団体から調達

市内企業への発注予定額
計 3,360 万円

+ 市内企業の需要をもたらす空調熱源計画

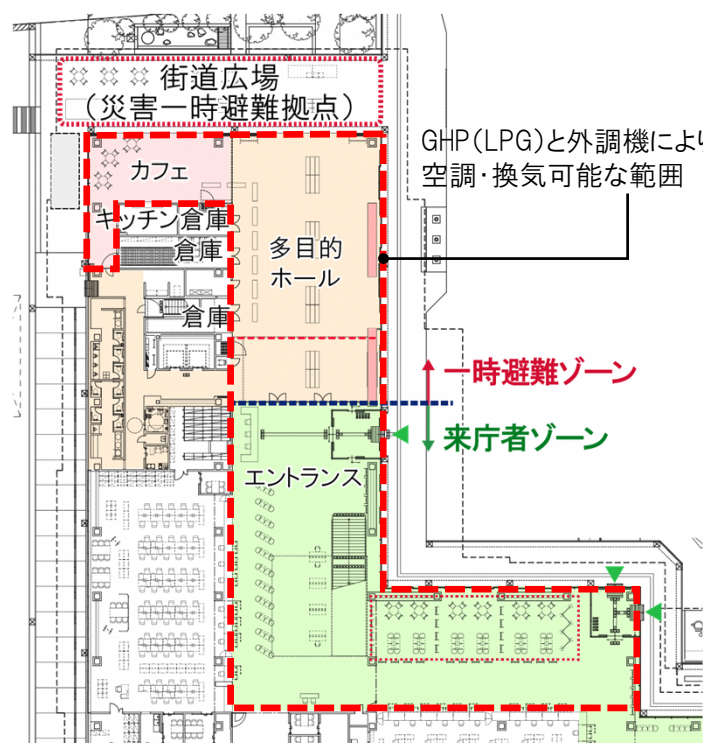
- GHP(LPG利用)による空調対象範囲を要求水準の2.5倍以上に拡大することで、より多くのLPGを消費し、市内LPG業者へ需要をもたらす計画

+ インフラ途絶時の空調可能範囲の拡大

- 1階は多目的ホール・カフェだけではなく、待合空間も含めて電源自立型GHP(LPG利用)による空調とすることで、電気・都市ガスが断絶した場合でも空調可能



GHP(LPG利用)導入イメージ



環境と未来の世代にやさしい庁舎

+ ZEB Ready (BEI=0.46)を達成する仕様設定

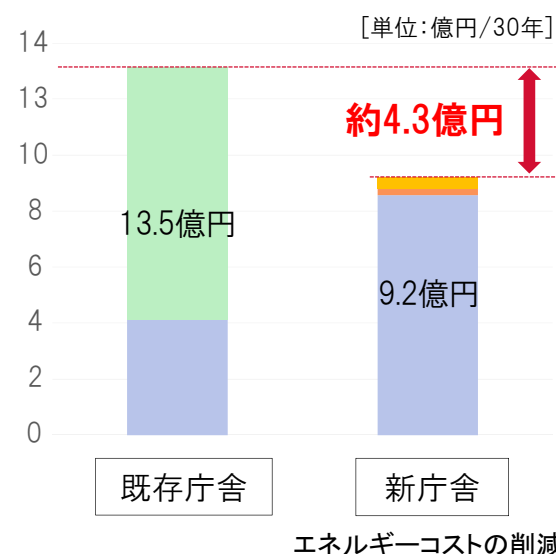
- リズナブルな仕様設定によりZEB Readyを達成
- 断熱性能と日射遮蔽性能を強化
- エネルギー利用の効率化を図る最適な設備仕様

- 空調設備** 建物全体のエアバランスを見直し全熱交換器効率を向上
- 換気設備** トイレの換気回数を見直し
- 照明設備** タスクアンビエント照明を方式を採用し執務室の照度設定を750lx→500lxとすることで照明エネルギーを低減
- 効率化設備** 太陽光発電設備容量を30→40kwとし館内電力を低減

+ 職員の健康に配慮した計画で滋賀県内初のCASBEEウェルネスオフィスSランク※を達成

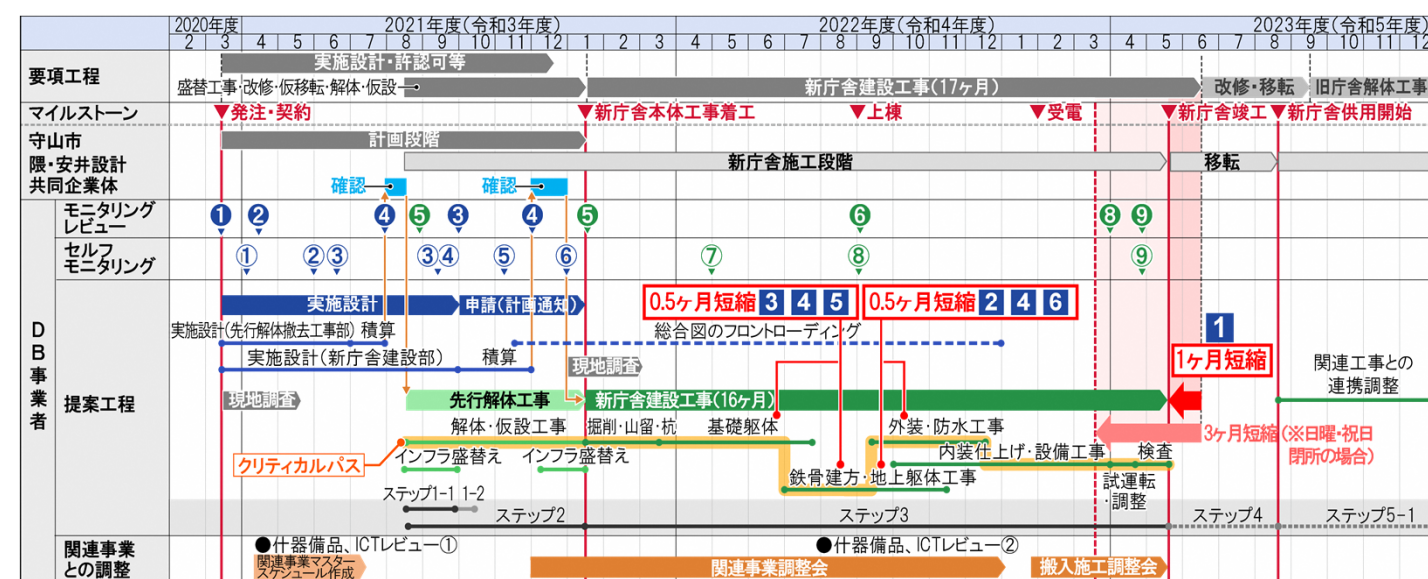
※CASBEE-ウェルネスオフィスは、建物利用者の健康性、快適性の維持・増進を支援する建物の仕様、性能、取組みを評価するツール

+ 供用後30年間のエネルギーコストを4.3億円削減



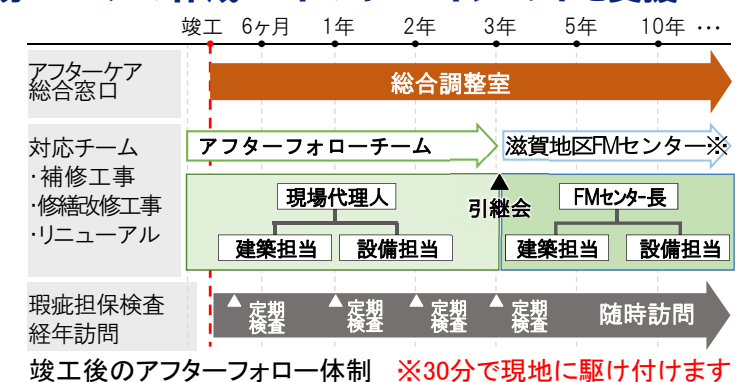
全体スケジュール

+ 4週8閉所の確保しながら新庁舎建設工事期間を1ヶ月短縮し、引越等の調整期間を確保



+ 引き渡し後の建物維持管理・災害時優先業務マニュアル作成・エネルギー管理を支援

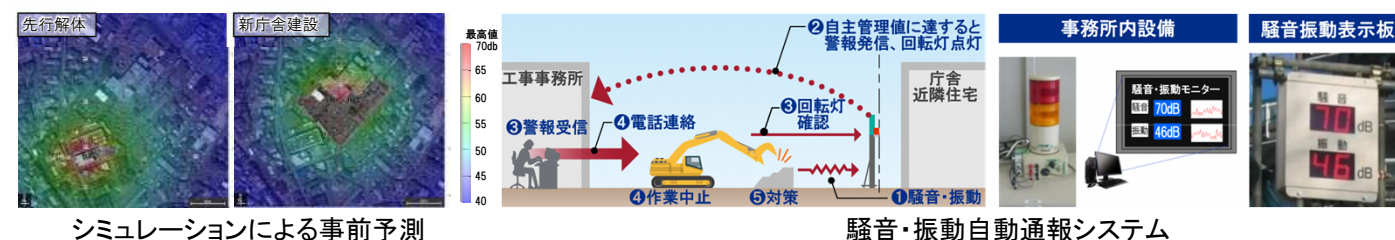
- 現場代理人を中心とした総合調整室によるアフターフォロー窓口の一元化
- 引渡し後3年間はアフターフォローチームによる円滑な施設運営支援
- 引渡し後3年以降は滋賀FMセンターによる継続的な維持管理支援
- エネルギー管理の運用及び災害時マニュアル等作成支援



施工中における周辺への配慮

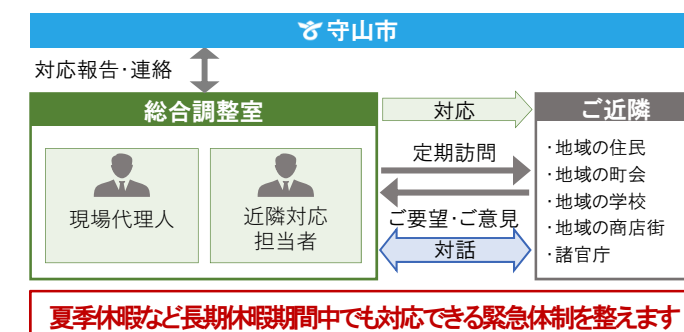
+ 騒音・振動シミュレーションによる事前検証とモニタリングによる管理

- 独自のシミュレーションにより騒音・振動影響予測を行い有効性を確認し、特定建設作業の規制値より厳しい自主管理値(騒音75dB、振動65dB)を設定



+ 近隣対応の明確化

- 総合調整室の現場代理人のもと近隣対応担当者を配置して窓口を一元化
- 工事に関する問い合わせに速やかに対応できるよう対応窓口の連絡先を仮囲いに明示



夏季休暇など長期休暇期間中でも対応できる緊急体制を整えます